SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

レポートの書き方指導のための学生レポート論理構造可視化システムの構築（研究の進捗発表（シニア（大学4年生以上）, 概要講演あり, 新規発表））

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-08-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 柳瀬, 翔, 野口, 靖浩 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00028312

研究の進捗発表（シニア（大学４年生以上），概要講演あり，新規発表）

レポートの書き方指導のための学生レポート論理構造可視化システムの構築

柳瀬翔（静岡大学大学院総合科学技術研究科情報学専攻），
野口靖浩（静岡大学学術院情報学領域）

一般に，大学教育の現場におけるレポートの評価では，教師が学生のレポートに対してフィードバックを与えることで，学生にレポートを改善させることや，次に提出するレポートの質を向上させる活動を行っている．この活動において教師は，レポート中の文章の論理構造から，主張が不足していることや，主張に対する根拠が不足していること，論証の流れの曖昧さがあることなどを指摘する．しかし１人の教師が担当する学生は多く，活動にかけるコストは大きなものになり，学生がレポートを提出してからフィードバックを受けるまでのタイムラグが生じる．

本研究は学生の提出したレポート文章中の論理構造を自動的に可視化することにより，前述の活動を促進することを目的としている．論証マイングの技術を応用し，文を「主張」「根拠」に分類し，更にヒューリスティックな生成ルールにより文間の関係を分析し，最後に論理構造の可視化を行うシステムを試作した．